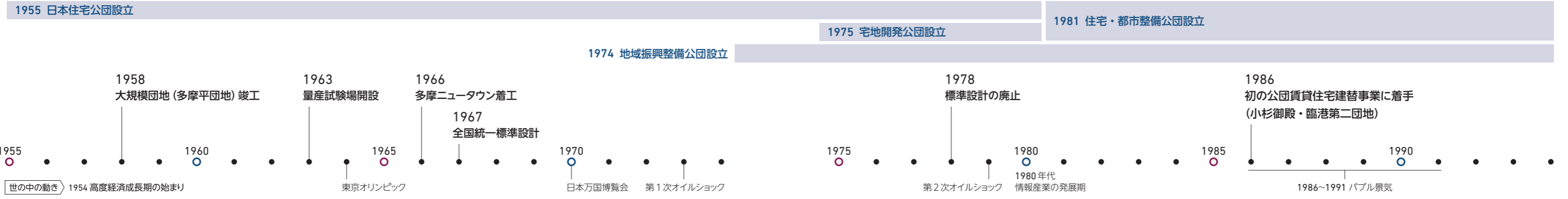


環境配慮のあゆみ

UR都市機構は、昭和30年代から現在まで約70年にわたり、都市環境・居住環境の整備において、先導的な特色ある環境配慮を推進してきました。ここでは、各時代の環境配慮についてテーマごとに整理してご紹介します。



1955

280万戸の住宅不足を解消するため日本住宅公団が設立され、DKなど新しい時代の住生活を提案してきました。



- まちや住まいの省エネルギー化
- 設計基準の確立
- 生産工法の開発
 - 汚水処理施設開発・建設 (1956)
- 都市の自然環境の保全・再生
- 新しい居住環境の整備
 - 日照を重視した住棟の南面平行配置 (昭和30年代)
 - 団地内のオープンスペース・プレイロットの連結による歩行者空間の充実 (昭和30年代)
- 樹木の利活用
 - 自然地形と現況林を保存した団地整備 (1959 / 御影団地)
- 基盤施設の整備
 - 汚水処理施設開発・建設 (1956)
- まちや住まいの安全・安心と快適性
- 新しい住宅様式の提案
 - 食寝分離 (DKスタイル) の提案 (1955)
 - 就寝分離 (個室) の提案 (1955)
 - 1DK住宅の供給 (1957 / 武蔵野緑町団地)
- 共用施設の整備・充実
 - プレイロット・児童遊戯施設の整備 (昭和30年代)
 - 集会所 (1956 / 光ヶ丘団地)
 - 団地ファニチャーへのアーティスト登用 (1958 / 東鳩ヶ谷団地)
 - テニスコートの整備 (1959 / ひばりが丘団地)

1965

高度経済成長による大都市への人口集中に対応すべく、ニュータウン開発をはじめ、大量の住宅供給を支える技術開発を推進してきました。



- まちや住まいの省エネルギー化
- 設計基準の確立
- 生産工法の開発
 - 大量供給への対応
- 資源の有効利用と廃棄物の削減
- 土地の有効利用
 - 真空集塵システム (1966)
- 基盤施設の広域化
 - 広域専用水道システムとの連携化 (昭和40年代)
- 都市の自然環境の保全・再生
- 都市の骨格としての環境整備
 - 歩車分離、日本初の歩行者専用道路 (1969 / 東久留米団地)
 - 緑の保全と利用を結合したグリーンマトリックス計画 (1973 / 港北ニュータウン)
- 土地の有効利用と安全性の確保
 - 浸透工法の採用 (1965 / 国立富士見台団地)
 - 洪水時だけ水がたまる低床花壇 (1966 / あやめ台団地)
- まちや住まいの安全・安心と快適性
- 新しい住宅様式の提案
 - 共同菜園 (1971 / 小川団地)
 - 親子ペア住宅 (1972)
 - ホーロー浴槽 (1972)
- 環境に配慮したライフスタイル
- 市民参加
 - 自然林復元の市民運動「どんぐり作戦」 (1972 / 高蔵寺ニュータウン)

1975

石油ショックによる省エネルギーの推進や、多様化する住まい方に応える質の高い居住環境の整備など、量から質への転換に対応してきました。



- まちや住まいの省エネルギー化
- エネルギーの効率的利用
 - ゴミ焼却排熱利用の地域冷暖房 (1976 / 森之宮団地、1983 / 品川八潮パークタウン)
 - 屋根外断熱本防水工法 (1977)
 - 住棟太陽熱利用給湯システム (1984 / 鳴海第3)
- 都市の自然環境の保全・再生
- 生物生息空間の保護
 - 生物保護区を指定した公園整備 (1982 / 港北ニュータウン 鴨池公園)
- 土地の有効利用と安全性の確保
 - 中水道を活用したせせらぎ (1978 / 芝山団地)
 - 雨水地下浸透工法試行実施 (1981 / 昭島つつじが丘ハイツ)
 - 緩傾斜堤防の計画策定 (1984 / 大川端リバーシティ 21)
- まちや住まいの安全・安心と快適性
- 多様な住宅メニュー
 - ダウンハウス (1975)
 - バリアフリー住宅 (1979)
 - ニューモデル中層住宅 (1981)
 - 全電化住宅 (1983)
 - システムキッチン (1984)
- 環境に配慮したライフスタイル
- 市民協働
 - コーポラティブ住宅 (1978)
 - 市民参加型公園計画 (1982 / 港北ニュータウン)

1985

バブル経済の崩壊という社会情勢の変化と並行して、住宅主体の開発から、さまざまな都市施設を備えた複合的なまちづくりへと重点を移行してきました。



- まちや住まいの省エネルギー化
- エネルギーの効率的利用
 - ヒートポンプと排熱利用のコンパクトエネルギーシステム (1987 / アーバニア千代田)
 - コージェネレーションシステムの導入 (1990 / パレル川崎)
 - 河川水利用給湯システム (1991 / 大川端リバーシティ 21)
- 資源の有効利用と廃棄物の削減
- 資源の有効活用
 - コンクリート塊の再利用 (1992 / 相模大野団地)
 - 伐採樹木によるチップ舗装 (1992 / 飯能南台)
- 都市の自然環境の保全・再生
- 緑化技術の開発
 - 植栽が育ちやすい土壌改良 (1988)
- 多目的な施設とビオトープ
 - 雨水を修景施設に活用 (1987 / 相模大野団地)
 - 調整池を活用したビオトープの整備 (1992 / 高槻・阿武山団地)
 - 流域水環境総合整備モデル事業認定第1号 (1993 / 八王子みなみ野シティ)
- まちや住まいの安全・安心と快適性
- 快適な住宅等の整備
 - シニア住宅 (1990)
 - デザインガイドライン (1993 / 幕張)
 - パブリックアート (1994 / ファーレ立川、1996 / 新宿アイランド)
- 環境に配慮したライフスタイル
- 市民協働
 - 自然保護団体との協働によるカタクリ移植 (1985 / 多摩ニュータウン 長池公園)
 - 小学生参加のワークショップによる公園づくり (1994 / 仰木)

価値創造のストーリー
SDGsへの貢献
環境マネジメント
緩和策・適応策
特集
2021年度の活動
環境活動
社会貢献活動
企業統治
有識者意見
参考資料

住宅・都市整備公団	1999 都市基盤整備公団設立	2004 独立行政法人都市再生機構 (UR都市機構) 設立
地域振興整備公団		



1995

阪神・淡路大震災の復興への支援をはじめ、密集市街地の改善や工場跡地の土地利用転換など、都市基盤の再整備を推進してきました。



左：阪神・淡路大震災発生、震災復興事業本部発足
右：八王子みなみ野自然塾の本格的活動開始(東京都八王子市)

まちや住まいの省エネルギー化

- エネルギーの効率的利用
 - 太陽光発電集中連携システム (1997 / いわきニュータウン)
 - ピークアラーム機能付分電盤 (2000)
 - 次世代省エネルギー基準の導入 (2003)
 - 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム (2004 / アーペインなんばウエスト)
 - 潜熱回収型給湯暖房機 (2004 / ハートアイランド新田)

資源の有効利用と廃棄物の削減

- 資源の有効活用
 - 生ゴミコンポスト (1999 / サンヴァリエ桜堤)
 - リサイクル発泡スチロール管 (2001 / グリーンプラザひばりが丘南)
 - 分別解体 (2001 / 三鷹台団地)
 - 超節水型便器 (2001 / フレール西経堂)
 - KSI住宅 (2002 / シティコート目黒)
 - ディスポーザー (2002 / アクティ三軒茶屋)

都市の自然環境の保全・再生

- 緑化技術の開発
 - グリーン・バンク・システムの本格実施(1996)
- 環境共生型まちづくり
 - 環境共生住宅認定 (2003 / ハートアイランド新田)
 - 地域資源を活かした環境共生型まちづくり (2003 / 坪井、2005 / 葛城地区)

多目的な施設とビオトープ

- 屋上ビオトープ (2001 / グリーンプラザひばりが丘南)
- まちや住まいの安全・安心と快適性
 - まちや住まいの安全・安心と快適性
 - 震災復興まちづくり (1995)
 - ユーメイク住宅 (1995 / アバンドーネ原5番街)
 - 常時小風量換気システム (1996 / シーリアお台場)
 - 階段室型共同住宅 EV・高齢者仕様EV (2000)
 - スーパー防犯灯 (2003)
 - シックハウス対策最高級仕様 (2004)

環境に配慮したライフスタイル

- コミュニティ形成の促進
 - 緑のワークショップ (1996 / 武蔵野緑町パークタウン)
 - コミュニティアート (1998 / 南芦屋浜団地)
 - NPO フェージョン長池とネイチャーセンター (1999 / 多摩ニュータウン)
 - 黒川はるひ野 グリーンネットワーク活動 (2002 / 黒川)

2005

政府の掲げる都市再生を推進し、人が輝くまちをプロデュースします。



左：越谷レイクタウンまちびらき(埼玉県越谷市)
中央：[MUJI x UR 団地]リノベーションプロジェクト発足(リバーサイドしろきた団地：大阪府大阪市)
右：東日本大震災における復旧・復興支援活動開始(写真：宮城県東松島市)

まちや住まいの省エネルギー化

- まちや住まいの省エネルギー
 - CO₂ヒートポンプ式給湯機 (2007 / ヴァンガードタワー)
 - 「家庭の省エネ講座」の開催 (2007 / 町田山崎団地)
 - 街区全体でCO₂ 20%削減する住宅計画の民間事業者誘導 (2006 / 越谷レイクタウン)
 - 電動自転車シェアリング (2008 / 彩都)
 - 街区全体でCO₂ 70%削減を義務付けた「低炭素モデル街区」による民間住宅事業者誘導 (2010 / 港北ニュータウン)
 - UR賃貸住宅の大規模な環境配慮の推進(共用部照明LED化、潜熱回収型給湯器に取替え、緑のカーテンの推進)発表 (2010)
 - URパワー (2013 / 小山田桜台団地)
 - メガソーラー (2013 / 西宮名塩ニュータウン)
 - 省エネ災害公営住宅の竣工 (2014 / 女川町運動公園住宅)

資源の有効利用と廃棄物の削減

- 建築副産物の再利用
 - 再生コンクリートを利用した集会所 (2005 / 牟礼団地)
 - 住棟単位での改修技術の開発「ルネッサンス計画」(2007 / ひばりが丘団地)
- 既存住宅ストックのリニューアル
 - 洛西ニュータウン団地リノベーションプロジェクト (2014 / 洛西竹の里団地他)

2010

＜都市を目指して、美しく安全で快適なまちをプロデュースします。＞



都市の自然環境の保全・再生

- 環境共生型まちづくり
 - 地域生態系に配慮したシミュレーション技術の開発 (2007)
- 多目的な施設とビオトープ
 - 海のビオトープ(潮入りの池、生態護岸) (2007 / みなとみらい21 高島水際線公園)
- 屋外空間における緑の確保
 - 大手町川端緑道 (2014 / 大手町地区)
 - 市民緑地制度を活用した街山づくり (2005 / おゆみ野)
 - 苗木採集プロジェクト (2014 / 豊間・薄磯地区)

まちや住まいの安全・安心と快適性

- まちや住まいの安全・安心と快適性
 - 安心・安全まちづくり協議会 (2005 / 流山新市街地)
- 災害に強いまちづくり
 - 防災公園「桜の森公園」の竣工 (2014 / 三重県鈴鹿市)

環境に配慮したライフスタイル

- コミュニティ形成の促進
 - 市民緑地制度を活用した街山づくり (2005 / おゆみ野)
 - UR賃貸住宅フォト&スケッチコンテスト (2008 ~ 2017)
 - 全国団地景観サミット作品展 (2013)

2015

都市再生の推進、ミクストコミュニティの実現、大規模災害からの復旧・復興等を推進します。



左：【洋光台団地】UR賃貸住宅を核とした地域活性化(神奈川県横浜市)
中央：【豊間・薄磯地区】どんぐりプロジェクト 豊間・薄磯防災緑地植樹祭(福島県いわき市)
右：【コモレ四谷】グリーンインフラを活用したまちづくり(東京都新宿区)

資源の有効利用と廃棄物の削減

- 既存住宅ストックのリニューアル
 - 在宅医療・介護・リハビリを提案・体験できるモデルルームの開設 (2015 / 森之宮団地、森之宮第2団地)
 - 既存広場のリニューアルによる地域活性化 (2018 / 洋光台団地)
- 資源の有効利用
 - 地方都市再生に資する既存建物のリノベーション (2019 / 福山駅前地区)

都市の自然環境の保全・再生

- 都市再生の推進
 - 「ベイシティ晴海」の完成 (2017 / 晴海三丁目西地区)
 - 「大手町プレイス」の完成 (2018 / 大手町二丁目地区)
 - 「コモレ四谷」の完成 (2020 / 四谷駅前地区)

まちや住まいの安全・安心と快適性

- 災害に強いまちづくり
 - 明和池公園の竣工 (2015 / 大阪府摂津市)
 - 川辺のまちづくりの開始 (2017 / 大和川左岸(三宝)地区)
- 民間事業者等との連携
 - エリアマネジメント活動拠点「ひばりテラス」の完成 (2015 / ひばりが丘団地)
 - 病後児保育施設のオープン (2016 / 豊明団地)
 - ぐらしのサポートサービスの開始 (2016 / 多摩ニュータウン)
 - 介護予防・生活支援サービス事業「通所型サービス」(2017 / 大島四丁目団地)

環境に配慮したライフスタイル

- コミュニティ形成の促進
 - 「さくらの森植樹祭」の実施 (2016 / 志津川地区東団地)
 - 豊間・薄磯防災緑地植樹祭の実施 (2016 / 豊間・薄磯地区)
 - 街路樹植樹イベントの実施 (2017 / 鹿折地区)
 - 地域・UR都市機構・行政の連携による斜面林活用 (2017 ~ / 香里団地E地区)

価値創造ストーリー SLOGANの貢献 環境マネジメント 緩和策・適応策 特集 2021年度の活動 環境活動 社会貢献活動 企業統治 有識者意見 参考資料